

人的資本経営に取り組む企業として  
「人的資本経営品質 2025」を初受賞  
～推進体制や情報開示が高評価～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、一般社団法人 HR テクノロジーコンソーシアム、HR 総研（ProFuture 株式会社）、一般社団法人人的資本と企業価値向上研究会が主催する「人的資本調査 2025」において、人的資本経営・情報開示への取り組みが一定の基準を満たす企業として評価され、「人的資本経営品質 2025」を受賞しましたのでお知らせいたします。



人的資本経営品質  
2025

このたびの受賞では、経営層のリードによる推進体制の整備や、経営戦略と人材戦略を連動させた適切な指標設定や情報開示について高く評価されました。

当社は、重要課題（マテリアリティ）の一つとして「働きがいのある組織風土・人づくり」を掲げ、働くすべての人を最も貴重な財産と位置づけています。今後も、経営陣と連携し人的資本経営を一層深化させ、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

■主な取り組み

ダイバーシティ&インクルージョン	障がい者雇用率、LGBTQ への理解促進（ALLY 表明者数）などで具体的な KPI を設定し、多様な人財が活躍できる環境整備を推進しています。
専門性の強化と自律的キャリア形成	高度専門人材制度の運用や DX 人材育成の強化、キャリアカウンセリング室の設置など、社員の自律的なキャリア形成を支援しています。
公正な評価と処遇	「改革・挑戦」を促す行動評価と業績評価を組み合わせ、社員のパフォーマンス最大化と納得感のある処遇の実現を図っています。

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

以上